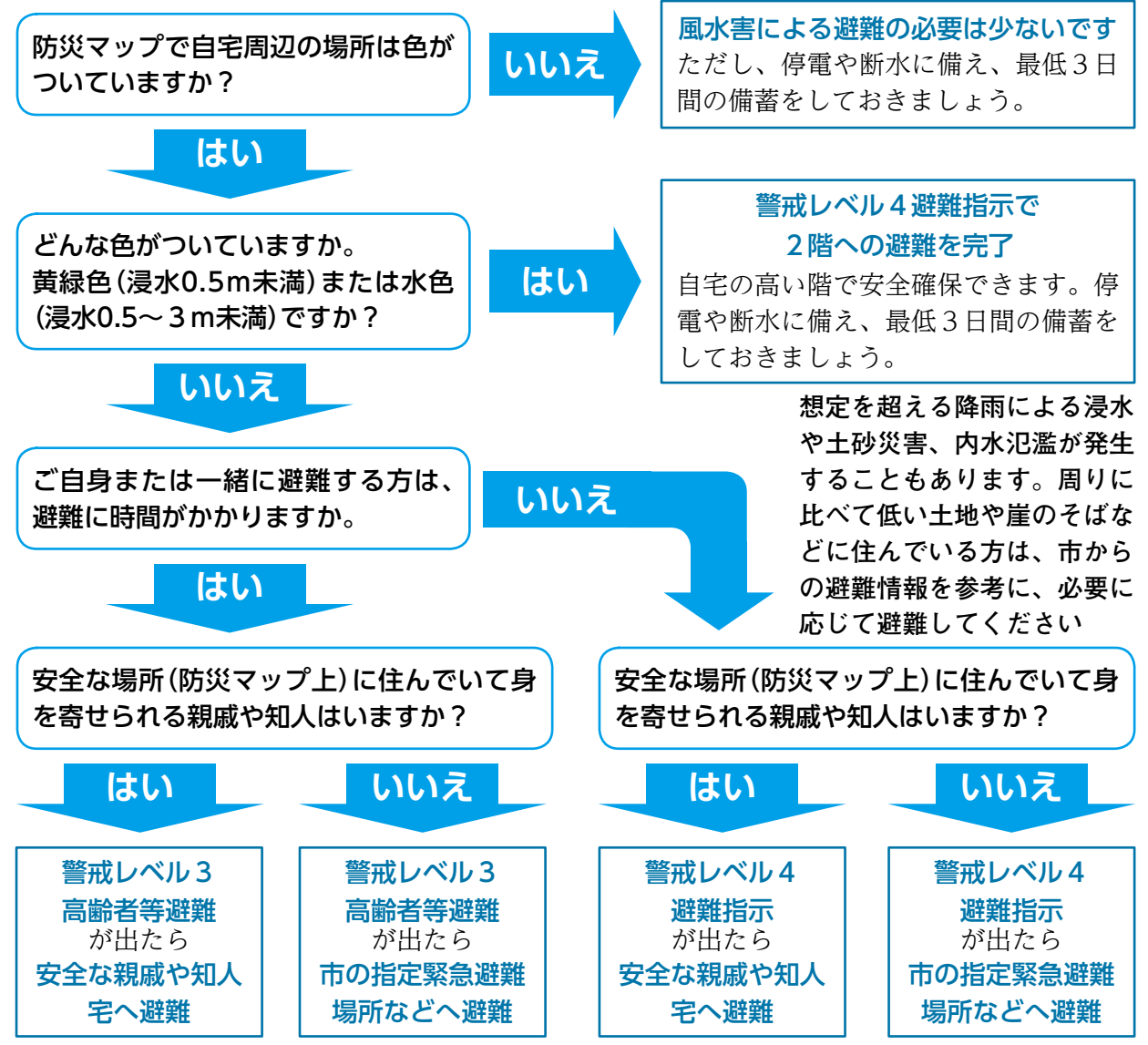


防災マップの着色が示す災害リスクとあなたがとるべき避難行動



警戒レベルと皆さんがとるべき行動

市では、洪水や土砂災害などが発生する恐れがある場合に、河川の水位や災害状況に応じて、警戒レベルを付して市民の皆さんへ避難を呼び掛けます(昨年5月から、新たな避難情報に変わっています)。危険な場所にいる方は「警戒レベル3」や「警戒レベル4」で、地域の皆さんと声を掛け合って、安全・確実な場所に避難しましょう。

警戒レベル	行動を促す情報	状況	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保	災害発生または切迫、命の危険	すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。建物の2階以上の高い所で山側から遠い部屋などに直ちに安全確保
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所にいる場合は、必ず安全な場所へ全員避難を開始
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	避難に時間のかかる高齢者や障害のある人などは、安全な場所へ避難を開始。
2	大雨・洪水注意報	気象状況悪化	自ら避難行動を確認
1	早期注意情報	今後机上状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。

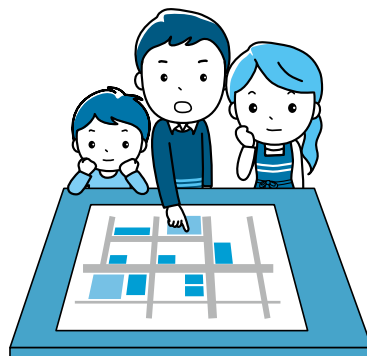
5年ぶりに更新

防災マップを全世帯に配布

自宅の災害リスクと避難行動の確認を

まずは家族で自宅周辺の災害リスクを確認

区や自主防災組織、家族、個人で、風水害や土砂災害から身を守るための計画を考える際に参考となる「豊岡市防災マップ」(行政区ごと)を、5年ぶりに更新しました。県の管理する河川の浸水想定が示されたことや、土砂災害特別警戒区域が新たに指定されたため更新したものです。先月号の市広報と一緒に各家庭へ配布していますので、万一の時に適切な避難行動がとれるように、まずは自宅周辺の災害リスクを確認してください。 《問合せ》防災課 ☎23-1111



防災マップ掲載内容

【表面】

- ▶ 100年に一度の雨で堤防が決壊したときの浸水区域
- ▶ 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域
- ▶ 指定緊急避難場所

【裏面】

- ▶ 避難情報の発令により市民がとるべき行動
- ▶ 防災マップに掲載されている災害想定等
- ▶ 避難の考え方(マップの着色を確認して、どんな避難が必要か確認できる)
- ▶ 避難行動の確認(どのタイミングで、どこに避難すべきかを記入できる)



WEB版防災マップには千年に一度の水害想定を表示

先月配布した防災マップのほかに、新たに市ホームページ上に「豊岡市WEB版防災マップ」を掲載しました。配布した防災マップは100年に一度の水害で起こる浸水想定を示していますが、「WEB版防災マップ」では、千年に一度の水害で起こる浸水想定や、堤防が壊れることで家屋が流出する恐れのある区域も確認することができます。また、住所検索の機能があり、住所を入力すれば知りたい地点の災害想定が確認できますので、併せて活用してください。



二次元コードを読み取り確認を

平時に警戒レベルと避難行動の確認を

毎年6月から10月末までの「出水期」は、前線や台風の影響などにより、河川が急に増水し、洪水が発生しやすい季節です。円山川の下流に位置する豊岡盆地周辺は緩やかな勾配のため、氾濫が非常に起きやすい地形となっており、山間部では、崖崩れ、地滑り、土石流等が予想される区域に人家が多数存在しています。

風水害や土砂災害での被害を最小限に抑えるため、防災マップと4ページの避難行動フローチャートを参照して、どのタイミングで、どのような避難行動をとる必要があるのか、平時に家族で話し合い、確認しておいてください。

